

広報のひろば

市の人口

(1月末現在)

総人口 51,958 (14増)

男 25,964 (13増)

女 25,994 (1増)

世帯数 15,347 (2増)

()内は前月との比較増減

●No.205 ●毎月1日・15日発行 編集発行/登別市中央町/登別市総務部公聴広報課



ちよつと緊張 一日入学

新入学児童が、早く学校になれ先輩の上級生や先生方、そして友達とも仲よくできるようにと、市内の各小学校では、今年も二月十四日の幌別小学校をトップに、一日入学が実施されました。

今年の市内の新入学児童は、十校の小学校で合わせて、八百八十四名(二月一日現在)です。

幌別小学校での一日入学では、はじめに、校長先生の一学校は友だちをたくさんつくって仲よく生活するところ」と、なごやかなお話があつて、さっそく、一年生の各教室にわかれて授業を参観。

一日入学児童を囲んでの授業にちよつとはかり緊張の先輩の一年生と心配そうなお母さんたちでしたが、生まれて初めての経験をする新入学児童は、あたりをキョロキョロしていました。

このあと、四月の入学時に備えてのいろいろな注意事項の説明があり、父母と先生方との懇談会が行われました。

1976
3. 1

もうすぐ一年生の心がまえ

新入学児をもつ家庭へのアドバイス

すくすくと成長されたお子さんが、ランドセルを背負って、元気に入学する日を、大きな喜びと、多少の不安な気持ちで待っているお父さん、お母さん、入学準備は終りましたか。

また、幌別東小学校校長である吉田和氏にも、入学をひかえての心がまえをよせていただきましたので、参考にさせていただきたいと思っております。

楽しい期待を

もたせましょう

「すっかりしなくては」「みんなに負けてしまわよ」「先生にかられますよ」などは禁句。

おどかしは禁物、小学校は楽しいところ「早く四月かるといいね」と安心と期待を盛りあげるようにしてください。

健康管理と

必要な体力を

入学は新しい環境に入っていくのですから、まず健康第一に、今か



読み書きなどをおぼえることより、友達となかよく遊べるのが大事

らわかっていては「みんなに負けてしまわよ」「先生にかられますよ」などは禁句。家庭でよく観察し、快食快眠、快便であるよう、また通学に必要な体力づくりをお願いします。

仲よく遊べる

子供に

入学は社会への第一歩、その基本は友だちとの活動です。だれとでも仲よく遊べるよう、ひとりっ子や、わがままな子は友だちと外遊びをさせてください。

また、自分のことは自分でやる子にしてほしいものです。教育の大切な一つは、自主性を

育てることです。

持ち物など身のまわりの始末は自分でするようにしつけましょう。

すぐ手助けをしようと学校へいって困ります。

便所へも一人で行けるように教えてください。

返事はハッキリ

よく聞き、話せる子に

「はい」「いいえ」は大事な意思表示だけでなく、自分の考えを確かめることにもなります。

また、よく聞き、お話のできるようにしましょう。

入学当初の大切なことは、先生のお話を正しく聞きとり、また気軽に話せることです。

よい話し相手になって、ごく自然な態度で、落着いて話をする訓練をしましょう。

幼児語もなくてください。

ものを大切に

する習慣を

最近の子供は物を大切にしません。入学当初より物を大切にすることをしつけ、与えるものは必要に応じて、必要な時に本当に使物を与えましょう。

また、持ち物には必ず名前をつけ、自分のものと他人のものとの区別ができるようにしてください。

交通安全には

親子で注意

登下校の通学路と、危険なところなどは、よく指導しておきましょう。

あわてて行動することの危険性と、常にゆっくり歩く行動ができるようにしましょう。

新入学をひかえて

登別市立幌別東小学校長

吉田和 市

入学前の

こどもへの配慮

小学校へ入学することもどって、生活環境が変わることが、喜びであると同時に不安がともなるものがあります。

大きな校舎、広い校庭、おとなのように見える六年生……など、おとなにとっては何でもない風景ですが、それが新一年生にとっては、おそろしく見え、圧倒され、恐怖すら感じることもあります。

入学時の緊張に加えて、こんな環境の不慣れが不安感をつのらせ大きな負担となることもあり、ときには、登校を拒否することさえもあります。

このようなことから、各学校では、一日入学の機会を設けて、少しでも学校に慣れたり、不安感をとりのぞくよう配慮しています。各家庭でも学校は楽しいところ、のびのびとできるところ、という明るい期待を抱かせてあげると、入学準備の第一歩です。

自分の名前を

書けるように

タテ、ヨコに平がなで、ワタの大きさに合わせて書けることが必要です。

平がなは絵本や雑誌を見せて、無理のないようにし「教えて」というようであれば、正しく教えるようにしましょう。

入学前の指導

入学式が近づくと、「うちの子は、百まで数えられる」「名前を漢字で書ける」「あいいうえおは全部いえる」などの、自慢話をよく聞くことがあります。それは、かえって入学してからマイナスになることがあります。

数でも、文字でも、入学してから学習することは、無理に数えない方がよいのです。絵雑誌や兄弟姉妹のものまねをしながら、自然に覚えるのは、止める必要はありません。

興味をもって覚えたがるときには、正しいものを教えておくのはよいことです。興味も起きないのに無理に教えこもうとすることは、入学後も学習に興味を失うきっかけを作るようなものです。つまり、受け入れる心の準備体制を整わないうちに教えるのは、よくありません。

きまりある生活をする

起床、就寝、食事、用便、おやつ、絵本による読書、あいさつ、友達となかよく遊ぶ、あとしまつをする、家の外であったことを家の人にわかるように話す、わからないことをはっきりたずねる、通学路をきちんと登、下校ができる交通安全にきをつける、など日常生活の中の勉強をしっかりさせることです。

このことは、ひらがなの読み書きや、百まで数えること以上に、基本的に大事なことです。

健康管理

入学前に健康診断が行われていますが、治療を要すると診断されていて、そのまま入学してくる場合があります。

子供にとっては、生活の転機であり、新しい意欲にもえる第一歩の入学にあたって、身体に故障があるということは、悲しむべきことです。

はじめての学校生活が、心もからだも快調にすべり出せるように心がけてあげてください。



急ぐほど減らす燃料、増す危険！

8日から

第一回定例市議会

昭和五十一年の第一回定例市議会は、三月八日（月）から開催されます。

今回は、議会運営特別委員会の結果報告など、報告案件が六件。新年度の予算案など二十四議案が提出されますが、案件のおもなものをお知らせします。

報告案件では、議会運営特別委員会結果報告（一般質問の時間を質問者一人当たり四十五分間とし質問回数を制限しないことなど）決算審査特別委員会結果報告では、昭和四十九年度の各会計の決算について審査の結果を報告。

このほか、総務常任委員会結果報告、定期監査に係る結果報告について、登別市土地開発公社に関する昭和五十一年事業年度の予算、事業計画及び資金計画の承認報告として、行政報告がおこなわれる予定です。

議案のおもなものとしては、昭和五十一年度の各会計の補正予算、昭和五十一年度の予算案として、各市条例の制定および一部改正などとなっております。

昭和五十一年度予算案には、①生活環境の整備、②住民福祉の推進、③教育環境の向上を重点政策として、生活環境の整備としては市道舗装、排水整備のほか、幌別ダム付近に、市民の森、と河川公園を造成し、市民の憩いの場とする。

福祉施策は、老人憩いの家を三カ所増築し、五カ所新築する。

肢体不自由児通園施設「のぞみ園」の園児一人月額五千元を支給するほか、母子会等に増額助成する。

別地区に市立幼稚園を、登別別地区に保育所を新設するほか、医師、看護婦、保健婦のための奨学金に二十万円出資するなど、きびしい財政事情の中で、極力市民の要望に応えることとし、第三セクター（登別市振興公社）を設立して、道路舗装、排水整備、教育施設などに約六億円の事業費をあてることとなります。

なお、予算関係の内容については別にお知らせします。

第二回市民まつり

9月中旬に開催

市民全体の和を深める市民まつりを、と昨年九月に実施した、第一回市民まつりは、好天にもめぐまれて大成功をおさめました。

今年も第二回目の市民まつりを開催し、成功させるために、二月七日中央公民館で、第二回市民まつり協議会がひらかれました。

この協議会では、実施時期は九月中旬に、場所は市の中心にあたる幌別地区で、実行委員には、連合町内会に加盟していない町内会長や労働文化協会などの団体を新た



この協議会では、登別温泉の地獄まつり、幌別ダム湖水まつり、商店街の歩行者天国など八月、九月にまつりが集中するため、開催日がかち合わないようにしてほしい、まつり疲れを避ける——などの意見が出され、結局は、昨年と同じ時期である九月に実施することに決定しました。

それには、晴天が続き、各地区のまつりをしめくぐる意味から、九月中旬に、市の中心部である幌別地区を会場として開催することに決めたものです。

松平前監督きたる

松平一家と呼ばれる日本男子バレーボールチームを育て、ついに金メダルを獲得した世界一の男、松平前監督の講演会を開きます。

松平康隆氏は、二十五連敗という不名誉な記録をもち、世界一弱かった日本男子チームを、独特の科学的トレーニングと、A、Bタイプ、時間差攻撃、フライングレシーブ等を創りあげ、大古、横田、森田の大砲、島岡、深尾の機関銃、名人猫田、闘将中村、皆様ご存知、全日本男子バレーボールチームを世界一にした方で、その秘密はどこにあるのか？

ぜひ、聞きたいものですね。

第三回登別市ミニサッカー大会の結果
小学生の部
一位 幌別西小学校Aチーム
得点王 鈴木宏二（西小）
最優秀選手 高橋浩行（西小）
中学生の部
一位 西陵中学校チーム

得点王 田村 淳（西陵中）
最優秀選手 田中孝行（西陵中）
第一回「北海道雪の祭典」が開催されます。

白銀の世界に親しみ、冬の生活を明るく豊かなものにするともに、自然の美しさを道内外に広く紹介、宣伝し、冬季観光レクリエーションを盛んにするために、第一回の「北海道雪の祭典」が次により開催されます。

○とき 昭和五十一年三月十三日（土）～十四日
○ところ ニセコアンヌプリ国際スキー場、ニセコ国際モイワスキー場
○主な催し
●三浦雄一郎とフリースタイルスキーショー
●第一回「北海道雪の祭典」大回転競技大会
●ハンググライダーショー
●小中学生スキー競技大会
●オリエンテーリング・宝さがし
●雪像コンクール
●花火大会、タイムマシン

●雪の女王撮影会
●アトラクション（自衛隊音楽隊・雷電太鼓・ロックバンド等）
●S A J パッケージテスト講習会
●食べ歩きコーナーの設置
●その他雪の憲章募集等々

○主催 北海道観光連盟
○後援 北海道、国鉄北海道局、関係市町村、同観光協会、道スキー連盟、報道機関、交通機関、民間企業等

○お問合せ先
●北海道雪の祭典実行委員会事務局
札幌市中央区北一条西二丁目 北海道経済センター一階 北海道観光連盟内（電話 二三一〇九四一）
●北海道雪の祭典後志実行委員会事務局
虻田郡倶知安町
後志支庁経済部商工労働課・後志観光連盟内（電話 〇一三六二二一一）

「寄贈ありがとうございます」
社会福祉協議会へ
愛情銀行
登別民謡登友会
古切手寄贈
持丸虎太郎殿・百六十三枚、岩倉則子殿・二百九十五枚、市役所温泉支所殿・六千枚
物品寄贈
鈴木勇殿 衣類 七十五点
《恵壽園へ》
舛甚恵造殿・書道全集十巻、栄町婦人部殿・ミカン四箱、安井五郎殿・おしめ五十枚、秋元友子殿・菓子一箱、長内栄久殿・手ぬぐい百本、志賀七郎殿・手ぬぐい百本、専売公社室蘭出張所、たばこ四百八十個、小原ライオン殿・生そば百二十袋、スナックラベル殿・ウイスキー二十本、志賀七郎殿・清酒一升、間沢芳太郎殿・カセットテープレコーダー一台、八重樫昭二殿・番茶六袋、西川清殿・木彫熊一個

《図書館へ》
志賀建設株式会社殿・三十万円
株式会社松村組殿・三十万円
丸彦渡辺建設株式会社殿・三十万円、登別建設協会殿・三十万円
《富岸小学校へ》
太平洋工業株式会社支店・屋内体育館用前幕一式

【3】 広報のほりべつ

おしらせ

三月の予防接種

三月の予防接種を行います。次の点に注意してうけてください。
 ○母子手帳を持参ください。
 ○体温は家で計ってきてください。
 ○BCGを行なってから一ヶ月を経過していない乳幼児は、他の予防接種はうけられません。
 ※予防接種の一時見合わせ
 ○種痘
 全面的に中止（見合わせ）して
 います。
 ○ジフテリア
 小学校入学前（第三期）の幼児のみ見合わせ、その他についてはいまままで通り行います。

赤ちゃん検診日程

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区	対象児
3月16日	12:00~12:30	鷺別公民館	鷺別地区	昭和50年12月生
3月17日	12:00~13:00	中央公民館	幌別地区	昭和50年11・12月生
3月19日	12:30~13:00	登別公民館	登別・登別温泉地区	昭和50年11・12月生

赤ちゃん検診

市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診を次の日程で行いますので、受診者は必ず母子手帳をご持参ください。

実施場所	時間	三種混合
ひまわり園	午後1:00~1:30	3月17日
鷺別支所	午後2:00~2:30	3月17日
富浜児童館	午後1:00~1:30	3月16日
中央公民館	午後1:00~1:30	3月4、11、18、25日
登別支所	午後1:00~1:30	3月17日
登別温泉支所	午後2:00~2:30	3月16日

三月の健康相談

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談に応じています。三月の相談日は次のとおりです。三月のご利用ください。

▽実施月日・受け付け時間
 ○三月四日・十一日・十八日・二十五日

▽内容
 ○午前：成人病相談（生活、食事指導、妊娠相談、家族生活相談）
 ○午後：赤ちゃん相談（六ヶ月児、九ヶ月児）、その他相談のある乳幼児（育児指導）

▽場所
 中央公民館

特別弔慰金の請求を

まだ、特別弔慰金を請求されていない方が、たくさんいます。次により早めに手続きをし、弔慰金を受けてください。

支給対象者

昭和五十年四月一日現在、公務扶助料、遺族年金などを受けられる遺族がいない方で、次のいずれかに該当する方
 ●昭和十二年七月七日（日華事変勃発の日）から、昭和十六年十二月七日までの間に、戦没した方の遺族であること。
 ●昭和十六年十二月八日以後に、戦没した方の遺族で、昭和四十七年四月一日から昭和五十年三月三十一日までの間に、遺族年金などの受給者が死亡したとき。
 ●前回の特別弔慰金
 昭和四十年 国債記号 一〇号

昭和四十一年 国債記号 一〇号
 昭和四十四年 国債記号 一〇号
 昭和四十七年 国債記号 一〇号
 を受けている方。
 ●前回の特別弔慰金を受ける権利があったのに、時効によりこれを受けられなかった方。
 ●昭和四十七年四月一日から昭和五十年三月三十一日までの間に、弔慰金の受給権のみを取得した方
 ●受給遺族の範囲
 戦没者死亡当時の兄弟姉妹（二親等）までの遺族です。
 ●請求期限
 昭和五十三年三月三十一日まで
 ●問い合わせ先
 社会課管理係（電話 5局211内線339）におたずねください。

空気が乾燥！火の元に注意

一時恩給の支給拡大

旧軍人に支給される一時恩給の支給範囲が、拡大されました。これまでの法律では、下士官以上の軍人に限られていたものが、今回の法律改正によって、下士官以下の方でも、引き続き実在職年（実際に兵隊に入っていた期間）が、三年以上以上七未満の軍人またはその遺族の方にも該当して、一時恩給が支給されることになりました。

手続き等々については、社会課管理係（電話5局211内線339）におたずねください。

交通指導員を増員

交通安全対策行政のなかで、交通安全指導員体制の充実強化を

優良運転者の表彰

登別交通安全協会では、昭和五十一年度の優良運転者を表彰するため、次のとおり対象者を受け付けています。
 該当者は申し出てください。
 △資格 登別交通安全協会の会員で次の条件に該当する方。
 ○無事故期間が引続き五年を有する運転者（五年表彰）
 ○無事故期間が引続き十年を有する運転者（十年表彰）
 ※いずれも、昭和五十一年三月三十一日現在です。
 △受け付け先
 ○鷺別・富岸方面に居住の方
 大岩昌生（電話67045）
 ○幌別方面に居住の方
 岩間義三（電話52320）
 ○中谷繁一（電話52254）
 ○富浦・登別方面に居住の方
 常盤幸男（電話31333）
 ○温泉・カルルス方面に居住の方
 斎藤忠夫（電話42175）
 △受け付け締め切りは、四月二十日です。
 不明な点は、市役所内の交通安全協会事務局（電話52111内線240）まで照会ください。

消費者相談窓口を開設

登別消費者協会では、消費者相談窓口を次のとおり開設しました。お気軽にご相談におこしください。

▽相談日
 毎週火曜日と木曜日

▽時間
 十時から十五時

▽場所
 幌別生活館（電話2966）

▽相談内容
 苦情処理、買物相談、商品テスト

月	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	1	2	3
日	5	27	17	1	22	5	26	16	14	25	9	27	24

● 日 時 18:00~20:00
 ● 場 所 中央公民館（2階ホール）

（公害防災課交通安全係）

ト、消費者教育相談等
 ※その他不明な点は、消費者協会
 会長河野敏文（電話5局4756）
 か、市観光商工課商工振興係（電話5局2111内線273）にお
 問い合わせください。

免許証の更新講習会日程を

昭和五十一年度の自動車運転免許証の、更新講習会の日程がきまりました。
 受講者は必ず運転免許証を持参してください。
 この講習会は、安全運転に必要な知識、交通法令の改正点など、優秀なドライバーとして必要な知識を理解していただくため、更新者全員が受けられるよう、道路交通法で義務づけられています。更新者は忘れずに受講してください。